

平成 1 8 年度
事業報告書及び収支決算書

財団法人 群馬県馬事公苑

平成18年度事業報告書

1. 事業概要

財団法人群馬県馬事公苑は、開苑以来、設立の趣旨に基づき、乗馬技術の向上等各種事業を積極的に実施し、県内唯一の馬とのふれあいが出来る公共施設として、馬事振興に寄与してきました。

平成18年度は、改めて県有施設の管理運営を行う指定管理者として委託を受けた1年目でありましたが、その利用状況につきましては、利用者の意見を取り入れたサービスの提供や親切・丁寧な接客、レッスン指導といったサービスの充実のほか、公苑ホームページの開設や積極的な広報展開による集客対策などの経営改善策を講じたことにより、通常乗馬が平成8年度以来の10,000鞍台を達成することができました。

その結果、主要事業である通常乗馬、引き馬等の利用料金収入は35,760千円で110.1%増加し、自主事業につきましても各種乗馬教室の増加、財団主催の乗馬大会を1回増加したこと等により6,626千円と対前年比143.7%で、事業収入計としましては、42,386千円となり前年度に比較して5,302千円、114.3%の増加と大きく上回る事が出来ました。

平成19年度は、指定管理者として責任ある経営基盤の強化と適正かつ効率的な管理運営にあたっていくとともに、事業においては、新たな乗馬教室の企画や固定利用者の乗馬促進策を始め、これまでの成果を更に充実させた施策の実施及び利用者のニーズを取り入れたサービスを積極的に提供していくことにより県内乗馬人口の底辺拡大に努めてまいります。

(1) 委託管理事業

「群馬県馬事公苑の管理及び運営に関する基本協定書」及び「群馬県馬事公苑管理及び運営に関する年度協定書」に基づき、群馬県馬事公苑の設置および管理に関する条例に従い、馬事公苑を管理し、県民の動物愛護心を涵養するとともに、馬に関する知識の普及と理解の促進、乗馬技術の向上に努めました。

ア. 委託事業の実施

通常乗馬、引き馬乗馬等のサービスを提供し、利用料金収入の増収を図りました。

イ. 施設の維持管理

来苑者が安全かつ快適に利用できるように、馬の良好な飼養管理と乗馬環境の適

正な維持管理に努めました。

(2) 実施事業と経過

ア 平成18年度自主事業

平成18年度自主事業計画に従い、各種事業を積極的に展開しました。

月 日	自主事業名	対 象 者
4/1	乗馬少年団採用	小学5年生～高校生
4/2～4/3	春休み乗馬教室	小学3年生～高校生
4/15～5/27	短期乗馬教室(4月生)	18才以上
4/20	体験乗馬教室	科学技術学園高校
4/22	体験乗馬教室	群馬銀行従業員組合
4/30	ステップアップ乗馬教室	子供乗馬教室修了者
5/5～5/5	こどもの日乗馬教室	小学3年生～高校生
5/24～5/26	平日無料体験乗馬会	乗馬初心者の大人
4/30	ステップアップ乗馬教室	子供乗馬教室修了者
5/28	ステップアップ乗馬教室	子供乗馬教室修了者
6/7	体験乗馬教室	埼玉県久喜市養護学校
6/10～7/22	短期乗馬教室(6月生)	18才以上
6/18	ステップアップ乗馬教室	子供乗馬教室修了者
6/29	体験乗馬教室	伊勢崎市教育研究所
7/23	馬事公苑乗馬大会	馬事公苑利用者
7/15～10/30	富士見村限定乗馬教室	乗馬初心者の大人
7/24	体験乗馬教室	邑楽郡明和町教育委員会
7/26～7/27	夏休み乗馬教室	小学3年生～高校生
8/2～8/3	夏休み乗馬教室	小学3年生～高校生
8/27	馬事公苑ナイター乗馬大会	馬事公苑利用者
8/14	体験乗馬教室	ボーイスカウト東京中央6団
8/12～9/23	短期乗馬教室(8月生)	18才以上
9/27～9/29	平日無料体験乗馬会	乗馬初心者の大人
9/24	体験乗馬教室	沼田市社会教育課
9/30	体験乗馬教室	前橋市中央公民館
10/14～11/25	短期乗馬教室(10月生)	18才以上
10/13	体験乗馬教室	伊勢崎市教育研究所
10/15	馬事公苑乗馬大会	馬事公苑利用者
10/21	体験乗馬教室	館林市児童センター

月 日	自主事業名	対 象 者
10/29	群馬県民の日無料体験乗馬	3才～小学生
11/16	体験乗馬教室	伊勢崎市教育研究所
11/19	秋の乗馬教室	小学3年生～高校生
11/26	馬事公苑乗馬大会	馬事公苑利用者
12/3	B C 級馬術技能審査会	馬事公苑利用者他
12/9～1/27	短期乗馬教室（12月生）	18才以上
12/27～12/28	冬休み乗馬教室	小学3年生～高校生
1/5～1/6	冬休み乗馬教室	小学3年生～高校生
1/7	体験乗馬教室	国際青少年研修協会
1/14	ステップアップ乗馬教室	子供乗馬教室修了者
2/10～3/24	短期乗馬教室（2月生）	18才以上
3/29～3/30	春休み乗馬教室	小学3年生～高校生
3/31	乗馬少年団修了	

イ 乗馬少年団

本年度は馬事公苑乗馬少年団を採用し、馬事普及に努めました。

名 称	期 間	対 象
馬事公苑乗馬少年団	H18.4.1～H19.3.31	小学5年生～高校生

ウ 協力事業

群馬県馬術大会、酪農畜産フェスティバルのほか、各種事業に協力しました。

月 日	協力事業名
4/16	春季群馬県馬術大会
4/18	ミ二国体強化練習
5/1～2/28	拠点施設活用事業（群馬県馬術連盟）
5/14～5/16	ミ二国体強化練習
5/8	月刊誌「ヴィアン」取材
5/24	群馬TV取材
5/21	群馬県民体育大会2部兼関東ブロックミ二国体選手選考馬術大会
6/1～6/4	ハローヒポ障害者乗馬大会
6/1	上毛新聞取材
6/11	群馬障害者乗馬大会
6/25	夏季群馬県馬術大会

月 日	協力事業名
6/27	農業クラブ・家畜審査技術競技大会
7/4～7/5	三二国体強化練習
7/9	赤城南麓の日記念無料引き馬（ポニー）
7/12～7/13	群馬県消防学校教育訓練
7/25～7/26	三二国体強化練習
7/26～7/28	職員社会体験研修（高崎工業高校 教諭）
8/6～8/8	拠点施設活用事業合宿
8/8～8/9	三二国体強化練習
8/13～8/16	三二国体強化練習
8/15～8/16	三二国体強化練習
9/14	富士見村役場広報課取材
9/15	職場体験学習（前橋第3中学校2年生）
9/19～9/20	国体強化練習
10/13	朝日新聞取材
10/13	富士見村いこいの里祭り
10/29～10/30	第17回酪農畜産フェスティバル
11/5	秋季群馬県馬術大会
11/30	群馬観光キャンペーン「愛馬の日」協賛
12/3	第28回国立大学対抗戦
12/26～12/27	県馬連強化練習
12/29～12/30	拠点施設活用事業合宿
1/3	NHK取材
1/21	県馬連強化練習
2/14	職場体験学習（群馬大学附属中学校2年生）
3/4	月刊でるネット取材
3/1～3/2	県馬連強化練習
3/9	県馬連強化練習
3/16～3/17	県馬連強化練習
3/18	早春群馬県馬術大会
3/21～3/22	県馬連強化練習
3/27～3/28	県馬連強化練習

エ 見学・体験乗馬

公苑施設の見学のほか、保育園等の体験乗馬に利用されました。

月 日	団 体 名	備 考
5/16	第2はと保育園	動物とのふれあい
5/26	伊勢崎広瀬小学校6年生	動物とのふれあい
6/1	群馬大学附属養護学校	動物とのふれあい
6/1	たんぼぼ学園	動物とのふれあい
6/8	たんぼぼ学園	動物とのふれあい
6/9	第2はと保育園	動物とのふれあい
6/14	第2はと保育園	動物とのふれあい
6/15	白川小学校	動物とのふれあい
6/21	白川小学校	動物とのふれあい
6/28	群馬大学附属養護学校	動物とのふれあい
6/29	第2はと保育園	動物とのふれあい
7/7	たけのこ保育園	動物とのふれあい
8/24	たんぼぼ学園	動物とのふれあい
8/31	たんぼぼ学園	動物とのふれあい
9/7	つくしんぼ保育園	動物とのふれあい
9/8	吉川保育園	動物とのふれあい
9/8	新町保育園	動物とのふれあい
9/10	つくしの会	動物とのふれあい
9/20	石井幼稚園	動物とのふれあい
9/22	コスモス保育園	動物とのふれあい
10/4	白川小学校	動物とのふれあい
10/12	はと保育園	動物とのふれあい
10/19	たんぼぼ学園	動物とのふれあい
10/25	はと保育園	動物とのふれあい
10/25	山王幼稚園	動物とのふれあい
11/1	石井幼稚園	動物とのふれあい
12/4	風の子保育園	動物とのふれあい
1/10	あゆみ保育園	動物とのふれあい
3/28	NPO法人わんぱくひろば	動物とのふれあい

2. 理事会の開催

平成18年度において、理事会を次のとおり開催し、提出議案について審議され、原案どおり承認されました。

(1) 第 5 4 回理事会

ア 日 時 平成 1 8 年 5 月 2 6 日 (金) 午後 3 時 0 0 分

イ 場 所 群馬県馬事公苑 2 階 談話室

ウ 出席役員 出席理事 8 名 委任状出席理事 4 名 監事 2 名

エ 議 事

- ・ 第 号議案 平成 1 7 年度財団法人群馬県馬事公苑事業報告及び収支決算
について
- ・ 第 号議案 財団法人群馬県馬事公苑評議員の選任について

(2) 第 5 5 回理事会

ア 日 時 平成 1 9 年 3 月 1 9 日 (月) 午後 2 時 0 0 分

イ 場 所 群馬県馬事公苑 2 階 談話室

ウ 出席役員 出席理事 9 名 委任状出席理事 3 名

エ 議 事

- ・ 第 号議案 平成 1 8 年度財団法人群馬県馬事公苑収支補正予算について
- ・ 第 号議案 平成 1 9 年度財団法人群馬県馬事公苑事業計画及び収支予算
について

3 . 評議員会の開催

平成 1 8 年度において、評議員会を次のとおり開催し、提出議案について審議され、
原案どおり承認されました。

(1) 第 1 回評議員会

ア 日 時 平成 1 8 年 5 月 2 5 日 (木) 午後 2 時 0 0 分

イ 場 所 群馬県馬事公苑 2 階 談話室

ウ 出席役員 出席評議員 4 名 委任状出席評議員 3 名

エ 議 事

- ・ 第 号議案 平成 1 7 年度財団法人群馬県馬事公苑事業報告及び収支決算
について
- ・ 第 号議案 財団法人群馬県馬事公苑役員の選任について

(2) 第2回評議員会

ア 日 時 平成19年3月19日(月)午前10時00分

イ 場 所 群馬県馬事公苑2階 談話室

ウ 出席役員 出席評議員7名 委任状出席評議員2名

エ 議 事

- ・ 第 号議案 平成18年度財団法人群馬県馬事公苑収支補正予算について
- ・ 第 号議案 平成19年度財団法人群馬県馬事公苑事業計画及び収支予算について

4. 役員及び職員

平成18年度における役員及び職員は、次のとおりです。

内 訳	区 分	平成17年度末 平成18.3.31現在	平成18年度末 平成19.3.31現在	増 減	備 考
	役 員	理 事	12	12	-
監 事		2	2	-	
計		14	14	-	
事 務 局	事務局長	1	0	1	
	総務課	3	2	1	臨時職員1名
	業務課	3	5	2	臨時職員5名
	計	7	7	-	

平成18年度収支決算書

収支計算書

平成18年4月1日から平成19年3月31日まで

(単位：円)

科目	予算額	決算額	差異	備考
事業活動収支の部				
1 事業活動収入				
基本財産運用収入				
基本財産利息収入	2,768,000	2,798,421	30,421	
基本財産運用収入	0	9,120	9,120	
基本財産運用収入計	2,768,000	2,807,541	39,541	
特定資産運用収入				
特定資産利息収入	0	14,234	14,234	
特定資産運用収入計	0	14,234	14,234	
事業収入				
利用料金収入	34,932,000	35,759,900	827,900	
自主事業収入	6,517,000	6,626,100	109,100	
事業収入計	41,449,000	42,386,000	937,000	
受託料等収入				
管理受託収入	42,500,000	42,500,000	0	
受託料等収入計	42,500,000	42,500,000	0	
雑収入				
受取利息収入	7,000	3,615	3,385	
雑収入	373,000	424,662	51,662	
雑収入計	380,000	428,277	48,277	
事業活動収入計	87,097,000	88,136,052	1,039,052	
2 事業活動支出				
事業費支出				
給料手当支出	25,164,000	24,968,005	195,995	
臨時雇賃金支出	5,670,000	5,535,440	134,560	
福利厚生費支出	4,236,000	4,231,218	4,782	
旅費支出	75,000	64,555	10,445	
報償費支出	210,000	210,000	0	
需用費支出	3,793,000	3,577,516	215,484	
役務費支出	2,254,000	2,184,777	69,223	
飼育費支出	9,077,000	8,737,237	339,763	
馬場整備費支出	310,000	304,500	5,500	
使用料及び賃借料支出	228,000	204,746	23,254	
消耗什器備品費支出	808,000	704,750	103,250	
負担金支出	30,000	30,000	0	
事業費支出計	51,855,000	50,752,744	1,102,256	
管理費支出				
役員報酬支出	7,279,000	7,201,600	77,400	
給料手当支出	12,352,000	12,345,156	6,844	

(単位：円)

科目	予算額	決算額	差異	備考
福利厚生費支出	2,841,000	2,840,601	399	
旅費支出	145,000	85,815	59,185	
需用費支出	2,168,000	2,132,199	35,801	
役務費支出	224,000	206,732	17,268	
委託費支出	2,084,000	2,083,969	31	
使用料及び賃借料支出	183,000	177,180	5,820	
消耗什器備品費支出	470,000	453,069	16,931	
負担金支出	54,000	54,000	0	
租税公課支出	4,258,000	4,251,800	6,200	
支払利息支出	75,000	0	75,000	
管理費支出計	32,133,000	31,832,121	300,879	
事業活動支出計	83,988,000	82,584,865	1,403,135	
事業活動収支差額	3,109,000	5,551,187	2,442,187	
投資活動収支の部				
1 投資活動収入				
投資活動収入計	0	0	0	
2 投資活動支出				
特定資産取得支出				
賞与引当資産支出	3,109,000	2,951,556	157,444	
投資活動支出計	3,109,000	2,951,556	157,444	
投資活動収支差額	3,109,000	2,951,556	157,444	
財務活動収支の部				
1 財務活動収入				
短期借入金収入	15,000,000	0	15,000,000	
財務活動収入計	15,000,000	0	15,000,000	
2 投資活動支出				
短期借入金返済支出	15,000,000	0	15,000,000	
財務活動支出計	15,000,000	0	15,000,000	
財務活動収支差額	0	0	0	
予備費支出	0	0	0	
当期収支差額	0	2,599,631	2,599,631	
前期繰越収支差額	5,412,000	5,412,537	537	
次期繰越収支差額	5,412,000	8,012,168	2,600,168	

収支計算書に対する注記

1 資金の範囲

資金の範囲には、現金・預金、未収金・未払金、前払金・前受金、立替金・預り金及び仮払金・仮受金を含めている。

なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

2 次期繰越収支差額の内容は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現金	141,500	577,130
普通預金	2,324,724	10,236,155
定期預金	5,289,522	5,412,537
未収金	1,040,587	0
前払金	30,000	30,000
合 計	8,826,333	16,255,822
未払金	3,011,424	7,501,480
預り金	402,372	742,174
合 計	3,413,796	8,243,654
次期繰越収支差額	5,412,537	8,012,168

正味財産増減計算書

平成18年4月1日から平成19年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減	備考
一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	2,807,541			
基本財産受取利息	2,807,541			
特定資産運用益	14,234			
特定資産受取利息	14,234			
事業収益	42,386,000			
利用料金収益	35,759,900			
自主事業収益	6,626,100			
受託料等	42,500,000			
管理受託収益	42,500,000			
雑収益	428,277			
受取利息	3,615			
雑収益	424,662			
経常収益計	88,136,052			
(2) 経常費用				
事業費				
給料手当	24,968,005			
賞与引当金繰入額	1,969,944			
臨時雇賃金	5,535,440			
福利厚生費	4,231,218			
旅費	64,555			
報償費	210,000			
需用費	3,577,516			
役務費	2,184,777			
飼育費	8,737,237			
馬場整備費	304,500			
使用料及び賃借料	204,746			
消耗什器備品費	273,910			
負担金	30,000			
減価償却費	430,840			
事業費計	52,722,688			

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減	備考
管理費				
役員報酬	7,201,600			
給料手当	12,345,156			
賞与引当金繰入額	981,612			
福利厚生費	2,840,601			
旅費	85,815			
需用費	2,132,199			
役務費	206,732			
委託費	2,083,969			
使用料及び賃借料	177,180			
消耗什器備品費	22,800			
負担金	54,000			
租税公課	3,208,700			
減価償却費	430,269			
管理費計	31,770,633			
経常費用計	84,493,321			
当期経常増減額	3,642,731			
2 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0			
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0			
当期経常外増減額	0			
税引前当期一般正味財産増減額	3,642,731			
法人税、県村民税	1,043,100			
当期一般正味財産増減額	2,599,631			
一般正味財産期首残高	5,412,537			
一般正味財産期末残高	8,012,168			
指定正味財産増減の部				
基本財産運用益				
基本財産受取利息	2,774,773			
過年度基本財産受取利息	637,460			
一般正味財産への振替額				
一般正味財産への振替額	2,807,541			
当期指定正味財産増減額	670,228			
指定正味財産期首残高	200,405,000			
指定正味財産期末残高	199,734,772			
正味財産期末残高	207,746,940			

(注) 新会計基準適用初年度のため、前年度欄及び増減欄の記載をしていない。

貸借対照表

平成19年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
資産の部			
1. 流動資産			
現金	577,130		
普通預金(群馬銀行)	10,236,155		
定期預金(群馬銀行)	5,412,537		
前払金	30,000		
流動資産合計	16,255,822		
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	188,334,772		
特定預金	11,400,000		
基本財産合計	199,734,772		
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	23,724,328		
賞与引当資産	2,951,556		
特定資産合計	26,675,884		
固定資産合計	226,410,656		
資産合計	242,666,478		
負債の部			
1. 流動負債			
未払金	7,501,480		
預り金	742,174		
流動負債合計	8,243,654		
2. 固定負債			
退職給付引当金	23,724,328		
賞与引当金	2,951,556		
固定負債合計	26,675,884		
負債合計	34,919,538		
正味財産の部			
1. 指定正味財産			
投資有価証券	188,334,772		
特定預金	11,400,000		
指定正味財産合計	199,734,772		
(うち基本財産への充当額)	(199,734,772)		
2. 一般正味財産	8,012,168		
(うち特定資産への充当額)	(0)		
正味財産合計	207,746,940		
負債及び正味財産合計	242,666,478		

(注) 新会計基準適用初年度のため、前年度欄及び増減欄の記載をしていない。

財 産 目 録

平成19年3月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額		
資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
現金手許有高	577,130		
普通預金(群馬銀行富士見支店)	10,236,155		
定期預金(群馬銀行富士見支店)	5,412,537		
前払金(H19年度日馬連会費)	30,000		
流動資産合計		16,255,822	
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券(別紙)	188,334,772		
特定預金(別紙)	11,400,000		
基本財産合計	199,734,772		
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	23,724,328		
定期預金(群馬銀行富士見支店)			
賞与引当資産	2,951,556		
定期預金(群馬銀行富士見支店)			
特定資産合計	26,675,884		
固定資産合計		226,410,656	
資産合計			242,666,478
負債の部			
1. 流動負債			
未払金(一般経費未払額)	3,391,680		
未払金(税金未払額)	4,109,800		
預り金(社会保険料)	742,174		
流動負債合計		8,243,654	
2. 固定負債			
退職給付引当金	23,724,328		
賞与引当金	2,951,556		
固定負債合計		26,675,884	
負債合計			34,919,538
正味財産			207,746,940

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券・・・償却減価法（定額法）によっている。

(2) 固定資産の減価償却の方法

消耗什器備品費・・・税法上の「中小企業者等の少額減価償却資産の取得価額の損金算入の特例」を適用し、一括償却によっている。

(3) 引当金の計上基準

退職給付引当金・・・期末退職給与の要支給額に相当する金額を計上している。

賞与引当金・・・職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち、当期に帰属する額を計上している。

(4) 消費税等の会計処理

消費税の会計処理は、税込方式で行っている。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は次のとおりである。

（単位：円）

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	189,005,000	0	670,228	188,334,772
特定預金	11,400,000	0	0	11,400,000
小計	200,405,000	0	670,228	199,734,772
特定資産				
退職給付引当資産	23,724,328	0	0	23,724,328
賞与引当資産	0	2,951,556	0	2,951,556
小計	23,724,328	2,951,556	0	26,675,884
合 計	224,129,328	2,951,556	670,228	226,410,656

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの 充当額)	(うち一般正味財産からの 充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
投資有価証券	188,334,772	(188,334,772)	(0)	-
特定預金	11,400,000	(11,400,000)	(0)	-
小計	199,734,772	(199,734,772)	(0)	-
特定資産				
退職給付引当資産	23,724,328	(0)	(23,724,328)	(23,724,328)
賞与引当資産	2,951,556	(0)	(2,951,556)	(2,951,556)
小計	26,675,884	(0)	(26,675,884)	(26,675,884)
合 計	226,410,656	(199,734,772)	(26,675,884)	(26,675,884)

4 担保に供している資産

なし。

5 固定資産の取得価額及び償却額

固定資産の取得価額及び償却額は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	当期償却額 (一括償却)	当期末残高
消耗什器備品費			
鞍(中古)	115,000	115,000	0
鞍(中古)	105,000	105,000	0
鞍(中古)	105,000	105,000	0
鞍(中古)	105,840	105,840	0
ノートパソコン	147,861	147,861	0
ノートパソコン	141,204	141,204	0
ノートパソコン	141,204	141,204	0
合 計	861,109	861,109	0

6 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	購入年度	帳簿価額	時 価	評価損益
39回国債	H 1 6 年度	30,162,000	29,958,000	204,000
群馬県公債	H 1 0 年度	6,000,000	6,028,128	28,128
群馬県公債	H 1 6 年度	49,772,500	49,630,000	142,500
群馬県公債	H 1 7 年度	79,608,480	79,209,480	399,000
群馬県公債	H 1 8 年度	22,791,792	23,034,840	243,048
合計		188,334,772	187,860,448	474,324

7 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内容	金額
経常収益への振替額	
基本財産受取利息	2,807,541
合計	2,807,541